

第2回京丹後市文化財保護審議会

- 1 開催日時 平成20年6月18日(水)午後1時30分～午後4時00分
2 開催場所 大宮庁舎4階第2・3会議室
3 出席者 田中光浩委員、平井久夫委員、糸井秀太郎委員、
吉岡英一委員、城下圭介委員、藤田泰弘委員、富澤孝雄委員、
足達礼三郎委員、吉江俊昭委員、今村純訓委員
事務局 引野教育長、祝前哲夫館長、吉田課長、横島補佐、小山主任
橋本主任技師

4 内 容

(1) あいさつ

(2) 議事

京丹後市指定文化財答申について(非公開)

京丹後市指定文化財解除について(非公開)

新指定文化財について(非公開)

その他

資料 1,2

5 要 旨

あいさつ (引野教育長)

こんにちは、新年度がつい先ほどスタートしたと思っておりましたが、もう6月の半ばとなりました。本日は第2回の文化財保護審議会にご出席いただき有難うございます。20年度の文化財関連事業も予定通り進んでいます。古代の里資料館や稲葉本家では企画展が行われ、埋蔵文化財調査では森本工業団地の発掘調査に着手しました。市史編さん事業では各部会で調査が進み、考古の資料編の刊行も予定されています。京丹後博士講座も先日久美浜町でスタートしました。本日の会議では前回の諮問を受けての市指定文化財についての審議、「琴引浜」が国の天然記念物及び名勝に指定された事に伴う市指定文化財の解除、新たな指定文化財についての審議等が予定されています。慎重な審議をよろしくお願いいたします。

あいさつ (平井会長)

ご多用のところ審議会にご出席いただきありがとうございます。本日の議題は前回の諮問に対する答申内容の確認、市指定文化財である「琴引浜」の指定解除、新しく市指定文化財を指定に向けての基礎資料となる案件の検討、その他数件を予定しています。時間が長引けば途中休憩を挟みたいと思います。

(事務局) それでは、議事の方を引き続き会長にお願いします。

議事

京丹後市指定文化財答申について（非公開）

京丹後市指定文化財の解除について（非公開）

京丹後市指定文化財について（非公開）

その他

(事務局) 資料1をご覧ください。

京丹後市芸術・文化人等活用調査研究事業についてですが、昨年からお世話になりたいと言っていました。が、財政部局との話し合いで広域に調査する必要性や観光的要素も高いという点から、広域市町村圏（2市2町）で取り組む事業として、京丹後市から提案することになりました。具体的には、その取組みが進み、情報を求められた場合に対応をお願いする形になりそうです。とりあえずは芸術・文化人等のリストアップという作業になると思われます。今後旧町毎のアンケート等の取組みも考えられますので、そのときはご協力をお願いします。

次に、文化財保護審議会委員活動の記録（報告書）の作成についてですが、任期2年の最後の年に、委員の皆様から原稿をいただき、審議会独自の報告書を作ろうというものです。活動の記録でも、その間の委員独自の研究内容でも構いません。記録の積み重ねが、振り返ると文化財保護の歩みを感じさせるものになるようなものにと考えています。一般向けに刊行する冊子としてではなく、あくまでも、内部資料という位置づけですので、了解が得られれば来年度に予算要求はしますが、予算が認められなくても、原稿を事務局で文書化し、製本する手づくりでも発行したいと考えています。

次に、平成20年度文化財保護審議会委員研修についてですが、19年度は3月末に実施しご迷惑をおかけしましたが、今年度は事前に十分話し合っ研修先等を決定したいと思えます。芸術・文化人の調査研究事業のからみもあり、本日個人を顕彰した施設を調査した資料を参考につけています。時期、場所も含めてご意見を聞かせていただきたいと思います。

(平井会長) 3件一括してご意見をいただきたいと思います。何かございませんか。

(委員) 個人の記念館のようなものを建てる計画でもあるのか。

(事務局) 芸術・文化人調査研究事業については、大宮町出身の小牧源太郎画伯の資料活用のあり方を考えるということに端を発しています。京都銀行口大野支店を譲り受け、展示施設にというプランも考えていたのですが、無償貸与が難しくなり、その活用方法が課題となっています。施設の資料を準備したのはそのような経緯もあって、活用を検討する材料の一つとして出したものです。

(委員) 近隣の出石町にも伊藤美術館があり運営されている。あそこは観光地に立地しているから運営できているが、京丹後市で考えると条件と整えられるかどうか心配だ。

(事務局) 明治館では、出石出身の他の文化人の展示も行っていると思う。

(委員) 一口に芸術・文化人といっても、どの時代のどんな人を対象にするのかわからない。リストなどがあるのか。

(事務局) 各町の町史に文化人を取り上げている場合もある。丹後町なら松本重太郎、弥栄なら平林初之輔、網野なら野村克也現楽天監督なども考えられる。まず、有名人をリストアップしていき、そこから絞込みの作業に入る必要がある。

(委員) 記念館だけを考えるのではなく、観光サイドとも連携を取り、まちづくりとセットで考えた方が動きやすいのでは。

(委員) 但東町では、「東井義雄」の「母の言葉」の実践活動利用した活動を行っている。個人資料館もあるが、全国から「母の言葉」を募集し、冊子を刊行して話題を集めている。京丹後市でも全国に発信できるような取組みが必要になる。

(委員) 網野でも「まぶ」を開発した人「河口小左衛門」の例もある。

(委員) 各地域でリストアップすれば、大勢出てくるのではないか。

(事務局) まず、多くの意見を出していただき、それから絞り込む形になる。

(平井会長) 文化・芸術人はジャンルや年代など多岐にわたり、列挙するのも大変だと思う。次の機会にも出してもらいたい。最後にその他で事務局から何かありますか。

(事務局) 20年度の事業の経過報告を各担当からさせていただきます。

市史編さん事業では古文書・仏像をはじめ順調に調査活動を続けています。現在大宮町内の神社調査を実施中ですが、戦時中に建てられたものに立派なものも多くあります。丹後の伝統的な神社の建築とは一線を画しています。市史の第一冊めの考古資料編も刊行予定で進めています。

古代の里資料館では現在、配布した緑色のリーフレットにあるコーナー展示を7/3まで実施中です。【資料2】その後10/5まで網野銚子山古墳の展示を行う予定です。稲葉本家では、稲葉家建築時の資料を現在展示しています。5/31には府立大学の大場先生を迎え、講演会も実施しました。会場が手狭に感じるほどの人に講演を聞いていただきました。

史跡管理維持事業では、今年も区や団体と委託契約を結び指定文化財の管理をしてもらっています。既に、大谷古墳や赤坂今井墳墓の草刈は実施してもらいました。看板設置も扇谷遺跡の看板が文化会館の芝生広場に設置済みです。

7 月中には多久神社文化財環境保全地区の看板が境内地に、カジヤ古墳の看板が峰山保育所に立つ予定です。

発掘調査ですが、既に森本工業団地の道路にかかる山城の調査に着手しました。顕著な遺構も出ず、今月中に終了する予定です。続いて網野銚子山古墳、その後、湧田山古墳の調査を行う予定です。網野銚子山は今年度で範囲確認調査を終了予定、湧田山は来年度も実施の予定です。

10/18・19の2日間全国鳴き砂サミットを京丹後市で開催します。会場はあじわいの郷を予定しています。

(平井会長) 何か質問意見がありましたらお願いします。

(委員) 天女の里は学校がキャンプ等によく利用している。折角成路分校に多くの民具資料があるのだから活用を考えてはどうか。

(事務局) 天女の里の指定管理者と相談していきたい。

(委員) 旧久美浜役場の民具も昨年整理したが、どうなっているのか。

(事務局) 学校関係者には利用してもらえるように、校園長会議で説明し、PRしている。授業での活用等してもらいたいと思っている。

(委員) ふるさと丹後歴史研究会の活動が去年は低調だったが、今年の動きを何か把握しているか。補助金等はあるのか。

(委員) 昨年活動が十分できていなかったのも、20年度は心機一転し、この間役員会を開き、体制の見直しを図った。

(事務局) たたらの操業に関して、企画推進課より補助金が出ている。文化財部局からは大谷古墳の管理委託なども出ている。

(委員) たたらについて役割分担を行い、7月22日23日に本操業を行う予定をしている。

(委員) 小牧源太郎の美術資料についてはどのように考えているか。

(事務局) 具体的な活用計画は現段階ではない。

(平井会長) 前回の小牧源太郎の展示には全作品を出したのか。

(事務局) 傷みがひどいものは出していない。展示してわかったのだが、当初の作品についていた額が全部揃っていないようだ。額と絵が合っていないと鑑賞者から指摘を受けた。何年か毎に公開する必要は感じている。

(委員) 先日島津小学校の6年生に遺跡の説明を行った。他の学校ではどのようにしているのか

(事務局) ほとんどの学校は文化財保護課へ説明の依頼は来る。

(委員) 学校から別の件で話を依頼されたときに、古墳の話をししたので依頼を受けたのだと思う。先日の審議会でもらったくらがり古墳の報告書が参考になった。

(事務局) 授業で遺跡の説明をお願いされる依頼はかなり多くある。

(委員) 市の指定文化財になっている久美浜の宗雲寺の宝篋印塔が二重に積んであるように思える。何か歴史的事実でもあれば別だが、正しく積みなおす必要があるのでは。

(平井会長) たくさんの議題を長時間にわたり審議ありがとうございました。本日は水野次長不在のため、終わりのあいさつは省略させていただきます。吉江新委員さんも含めた歓談の機会を委員研修の時に考えています。本日はどうもご苦労様でした。